

## CAL研究会 松山で研究会

# 「今こそ創意を発揮すべき時」

CAL研究会は4月24日、松山市内で研究会を開催した。テーマは「今こそ創意を発揮すべき時」。

オリエンテーションの後、LCL役員の前川正洋氏が基調講演。「この激動の時期に発展していくためには、さらに画期的な考えに基づき新しい活動を展開しなければならない。『発展なき者は滅びる』が鉄則。創意あるSSを創っていこう」と呼びかけた。

三原英人三原産業社長は、同社の沿革と歴代社長の業績、同社のフィロソフィー(企業が大切にしている価値観、考え方、信念)を紹介。「エネルギー供給はこれからももちろん続けていく。地域で暮らす人の生活や産業、災害対応に貢献することが、地域で共に働き生きる人の幸せにつながることを確信している。当社のインフラと人材はそのためにある。当社の存在意義はそこにある。安心と安全、幸せ

と新時代をお届けする地域インフラカンパニーを目指す」と決意表明。

続いて同社の社員が、「愛車クラブ」導入、タイヤ販売、新入社員へのキャリアプラン、車買い取り、次世代キャンピングカー販売などのセクションごとに取り組みを発表。

永友正興LCL社長と永友和人LCL取締役は「レンタカー予約サイトのリニューアル」「長期レンタカーシステム」「車載型キルロケシステム」「愛車クラブ車両ナンバー読み取りシステム」などLCLが現在取り組んでいることを説明。

山下真司山下石油社長は「時代と環境の変化に気付き、自身と自社の立ち位置を把握し、変化に対応しなければならない」と強調。「新商品『新車のるだけ?』は、販売収益を上げるのはもちろんのこと



「新しい理念を考え行動を」と呼びかけた

と、これから中古車販売で生き残っていくために必要な2次物流に対する布石となる」と呼びかけた。

目見田純也目見田商事社長は「CALWORKS」を活用した組織強化策を紹介。CALWORKSは学習会と日常運用するシステムを統合したSSのTCS(トータル・カーサービス)を推進する組織開発策。「目的は人作り、風土作り。収益を現在の人員、設備、環境でいかに勝ち取るかを主眼に強く推し進めていく。それを習慣化するためにシステム化した。具体的なデータを参照し人事評価に活用する」と説明した。